

夕陽ヶ丘物語

—文化と歴史の薫る町—

夕陽会
編

発刊に際して

この度、私達の町会、夕陽会は、本書『夕陽ヶ丘物語』を発刊することになりました。

この地は、四季折折の夕陽が美しく、江戸の人達に、名所「夕陽ヶ岡」として愛されてきました。町会の名前も、ここに由来しています。

激動の今日、住む町の過ぎし年を考え、未来に想いを馳せることも意義のあることと思います。

夕陽会およびその周辺について歴史および文化として、そこに住まれた人、建造物、そして思い出などを本書に纏めました。新しい歴史的発見などもありました。

執筆された方々、資料を提供くださった方々、その他ご支援くださった方々に心より感謝申し上げます。

この地が、いつまでも、夕陽が映えるところであることを念じております。

平成18年4月

夕陽会会長 金 武 典 夫

目次

発行に際して

1

第1章 夕陽丘の歴史と風景

江戸期の夕陽岡

8

夕陽丘を歩く

10

目黒駅の変遷

27

香港園

30

ダグラス・マッカーサー最高司令官とアンセルモ教会

33

雅叙園観光ホテル

38

杉野学園

40

杉野記念館

49

杉野学園衣裳博物館

53

日本で最初の撮影所、目黒グラス・ステージ

55

第2章

夕陽丘人物伝

目黒川の桜
目黒雅叙園の文化
大圓寺
目黒さつき会館

71 69 66 64

登山家、今井田研二郎
貴族院議員、岩永祐吉
初代町会長、大川周明
十四世、喜多六平多
杉野学園創立者、杉野繁一・杉野芳子
小児科医、玉木正季
刻字家、長揚石
貿易庁長官、塚田公太
写真家、長野重一
冬季オリンピック選手、南洞邦夫

109 107 105 99 95 88 86 84 79 75

第3章

夕陽丘と私

海軍中将、堀悌吉

構造設計の大家、松井源吾

杉野学園卒業生の活躍

夕陽丘で三十年

栗野誠治

124

「戦争日記」より

石原(旧姓・嶋田)洋子

128

四丁目の今昔

植木多恵子

133

夕陽丘と私

奥村一郎

136

昭和二十年～三十年代のドレメ通り

奥村潤一郎

143

地元

海田悠太

147

焼夷弾をつかめ

金武典夫

149

ドレメ通りの思い出

椎野開八郎

151

焼け跡の青春

田中稀一郎

153

私の夕陽会

田中公平

159

青春時代の思い出の場所

田中卓次

169

119 115 112

第4章

資料編

辛夷と飯塚さん	
私が小さかった頃	
四丁目の記憶	
私と夕陽丘	
上大崎四丁目	
柿の木のつぶやき	
ドレメ通りの季節感と変遷	
谷口保澄	172
つかだはるこ	175
土岐(旧姓・東条)敦子	182
野澤 清	185
牧野雄一	189
町中須威子	191
柳澤浩一	192
夕陽丘賢人会——健人会	198
夕陽丘親交会	203
夕陽会の概要	211